

令和2年度 1月定例教育委員会会議における協議事項について

協議事項(1)「奈良市の目指す教育について

～次期奈良市教育振興基本計画(案)について～

◆ 協議概要

これまでの協議の指摘を反映した「教育振興基本計画(案)」を作成し、第1章から第4章までの変更点の確認及び第5章の基本方針1に係る各課の施策内容について協議を行った。

◆ 発言概要

- 全国学力学習状況調査の結果について、課題となることや、そこから読み取れること、または策定に向けて必要となる情報を記述すること。
- ICTを活用した学びについて、「学びなら」が記載されていないが、現状と課題で触れないのか。
- 全体的な書き方で、現状を把握して目標と現状とのギャップを埋めるためにすべきことということで課題があって、その課題を解消するための施策があるという形になっているが、その流れが分かりやすく書かれているかどうか点検すること。またその課題が奈良市の課題となっているかも点検すること。
- 5年間の中期計画となるため、実現可能な部分を確実に書き込むようにすること。
- 全体を検索してICTというキーワードがどこに使われているのかチェックすると、ICTの語が少ない。
- 「教室と社会をつなぐ」という重点課題が具体的な施策で表すのは難しいと思う。しかし、PBLを実践するということに当たっては、学校の中だけではなく、学校外の多くの人材を、学校に入れるということも今後大事になってくる考えと考える。
- 計画のPDCAを考えたとき、ここに書かれていることを検証していくということになる。考え方だけの施策ではなく、具体を示すことが必要。
- 事務局内の事業のつながりを示し、計画の実施に向けての具体施策の在り方をそれぞれ検討することで、より具体が見える。
- 重点事項等をこの計画において挙げていることの意図が見える表記があればいい。